

エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）

追加型投信／海外／債券

第185期末（2019年2月5日）	
基準価額	7,309円
純資産総額	24,366百万円
第180期～第185期	
騰落率 （上昇率・下落率）	+0.7%
分配金合計（*）	270円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

（*）各期の分配金を合計したものです。

第180期（決算日：2018年9月5日）
第181期（決算日：2018年10月5日）
第182期（決算日：2018年11月5日）
第183期（決算日：2018年12月5日）
第184期（決算日：2019年1月7日）
第185期（決算日：2019年2月5日）

作成対象期間

（2018年8月7日～2019年2月5日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、エマージング・カントリー（新興国）のソブリン債券および準ソブリン債券を実質的な主要投資対象として分散投資を行い、高水準かつ安定した利子収入に加え、値上がり益の獲得を目指して運用することを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で閲覧できます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社まで、お問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧およびダウンロード方法＞

- ①右記ホームページにアクセス
- ②「基準価額一覧」もしくは「ファンド検索」から当ファンドを検索し、選択
- ③ファンドの詳細ページで運用報告書（全体版）を選択



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

■ ファンドマネージャーのコメント

当作成期（過去6カ月）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

新興国のファンダメンタルズを重視し、発行国の信用力対比でのスプレッド（米国国債との利回り格差）水準が割安と判断される国を中心に投資を行いました。

【第185期末における新興国債券市場への投資のポイント】

- **ファンダメンタルズの改善が見込まれる国を中心にポートフォリオを構築しました。**
 新興国のファンダメンタルズは緩やかに改善していくと考えており、当作成期においてはファンダメンタルズの改善が見込まれる国を中心にポートフォリオを構築しました。しかし、短期的に注目すべき不確実性要因として、先進国の金融政策、米中の成長減速懸念、貿易政策の不透明感、英国の欧州連合（EU）離脱問題、コモディティ価格の動向や一部新興国に固有の問題等があり、事態の推移を注視していく方針です。
- **ポートフォリオの構築について**
 ポートフォリオの構築に関しては、発行国のファンダメンタルズやスプレッド水準の評価から組入債券を選定しました。
 新興国債券市場は、先進国の金融政策や米国の貿易政策等がもたらしうる影響を考慮し、ファンダメンタルズの改善が見込まれる国や市場の不安定性に抵抗力を有する国を中心に配分を行いました。
 また、一時的なボラティリティの高まった場面では、市場価格が発行体のファンダメンタルズと比較して割安な状態になっていると思われる銘柄に関しては機動的に組み入れる運用を行いました。
- **主な地域別・国別の配分について**
 地域別では、ラテンアメリカの組入比率を引き上げた一方、中近東やアフリカの組入比率を引き下げました。
 国別では、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているハンガリーなどの一部欧州諸国やアラブ首長国連邦やサウジアラビアなどの一部の中東湾岸諸国への配分を重視しています。一方、ファンダメンタルズは良好と考えられるものの、バリュエーション面で割高と思われるアジア諸国などについては、ベンチマークの構成比に対して低めの投資割合としています。当作成期では、新政権の財政規律を重視する姿勢などを考慮して、メキシコの組入比率を引き上げました。一方、政治的な不透明感などを考慮してスリランカの組入比率を引き下げました。



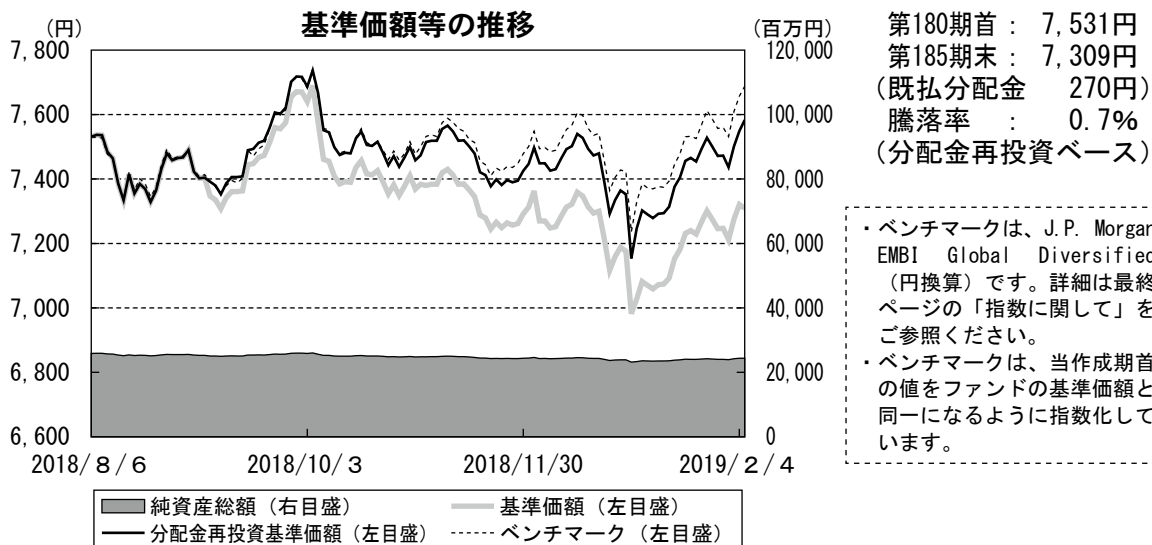
ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
 シニア・マネジング・ディレクター、債券ポートフォリオ・
 マネジャー
 ジェームズ ヴァローン

上記は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第180期～第185期：2018/8/7～2019/2/5）

基準価額の動き	基準価額は当作成期首に比べ0.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
ベンチマークとの差異	ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（2.1%）を1.4%下回りました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

! 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	新興国債券市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	米ドルが円に対して下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2018年8月7日～2019年2月5日）

i 記載された金額は、期間中にファンドを介して受益者のみなさまが間接的にご負担いただいた費用です。

項目	第180期～第185期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	62円	0.850%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(36)	(0.487)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(24)	(0.325)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.038)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	1	0.008	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	63	0.858	
作成期中の平均基準価額は、7,349円です。			

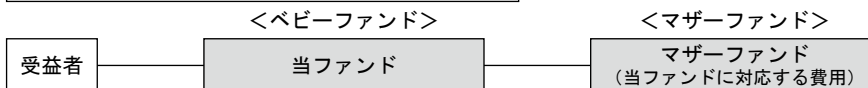
(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

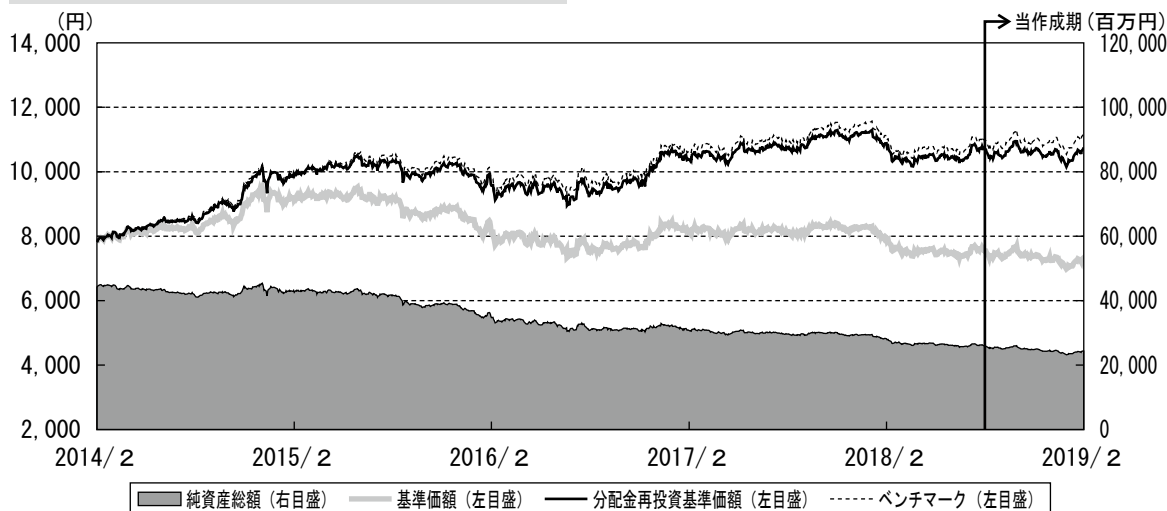
【費用開示の仕組み】

下記 部分の費用が費用明細に含まれています。



最近5年間の基準価額等の推移について

(2014年2月5日～2019年2月5日)



- ・分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2014年2月5日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
- ・海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/2/5 期初	2015/2/5 決算日	2016/2/5 決算日	2017/2/6 決算日	2018/2/5 決算日	2019/2/5 決算日
基準価額（円）	7,820	9,120	8,108	8,091	7,952	7,309
期間分配金合計（税込み）（円）	—	675	780	640	540	540
分配金再投資基準価額騰落率	—	26.1%	-2.9%	8.3%	5.0%	-1.1%
ベンチマーク騰落率	—	25.8%	-0.6%	8.3%	5.0%	0.7%
純資産総額（百万円）	44,222	42,597	34,728	30,637	28,160	24,366

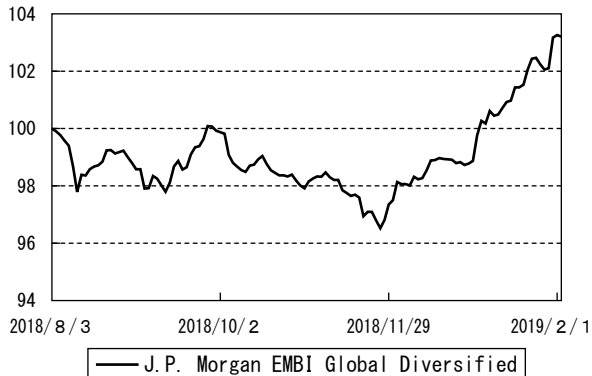
- ・ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

（第180期～第185期：2018/8/7～2019/2/5）

新興国債券市況の推移 （当作成期首を100として指数化）



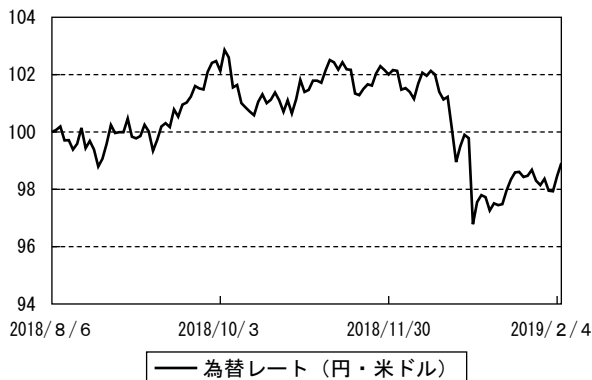
（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

◎新興国債券市況

- ・当作成期は、米国金利の上昇に対する懸念などから、新興国債券市況が軟調となる場面があったものの、2018年末から2019年1月末にかけて米国の金利上昇に対する懸念が後退し、市場参加者のリスク回避姿勢の後退を背景に新興国債券市況は堅調に推移し、当作成期を通じて見ると、新興国債券市況は堅調となりました。

為替市況の推移 （当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・当作成期は、米国の堅調な景気等を背景に米ドルが円に対して上昇する場面がありました。その後、2019年初にかけて米国の追加利上げ観測の後退や米中貿易摩擦の影響等による世界経済の減速懸念などを背景に米ドルが対円で大きく下落しました。その後、市場参加者のリスク回避姿勢の後退などを受けて米ドルは対円で下落幅を縮小させたものの、当作成期を通じて見ると、円高・米ドル安となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

- ・エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

<エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ1.6%の上昇となりました。

- ・エマージング・カントリーのソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象としています。エマージング・カントリーが発行する米ドル建のソブリン債券を中心に投資を行い、一部ユーロ建の債券に投資を行いました。
- ・国別では、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているハンガリーやクロアチアなどの一部の欧州諸国についてはベンチマークの構成比に対して高めの投資割合を継続しました。また、アラブ首長国連邦やサウジアラビアなど一部の湾岸諸国についてもバリュエーション等の観点から前向きに見ています。一方、政治的な不透明感などを考慮して、スリランカの組入比率を引き下げました。
- ・デュレーションは、米国で緩やかなペースでの利上げが見込まれる状況などを考慮し、ベンチマークに対してやや短めとしました。
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。
- ・外貨の組入比率を高水準に保ち、米ドル建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。ユーロ建債券への一部の投資については、実質米ドル建の投資となるように為替取引を行いました。
- ・前記のような運用の結果、米ドルが円に対して下落したことなどがマイナスに作用したものの、新興国債券市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

（ご参考）

格付別組入比率

格付種類	作成期首 (2018年8月6日)	作成期末 (2019年2月5日)
	比率	比率
AA	5.9%	4.9%
A	7.7%	9.3%
BBB	29.3%	27.5%
BB	26.1%	24.2%
B	25.3%	25.9%
CCC	—	0.8%
CC	—	—
C	0.4%	0.5%
D	0.6%	0.6%
無格付	—	0.2%

- ・上記は、マザーファンドの純資産総額に対する各格付けの割合です。
- ・格付別組入比率は、Moody's社とS&P社の格付けのうち、上位の格付けを用いて、S&P社の表示方法で表記しています。
(出所：Bloomberg)

ポートフォリオ状況

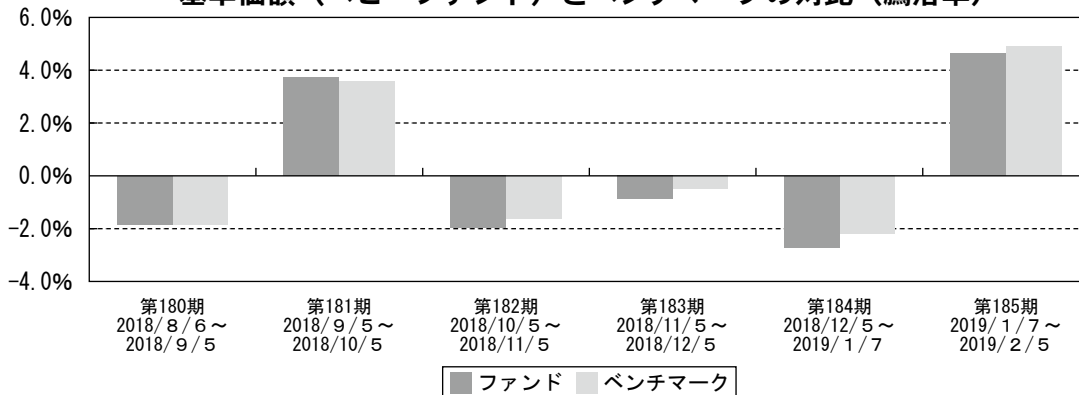
	作成期首 (2018年8月6日)	作成期末 (2019年2月5日)
平均終利	5.59%	5.53%
平均直利	5.71%	5.67%
デュレーション	6.1	5.6

- ・平均終利（複利最終利回り）とは、償還日までの受取利息とその再投資収益および償還差損益も考慮した利回り（年率）をいいます。
- ・平均直利（直接利回り）とは、受取利息収入部分にのみ着目した利回り。債券価格に対する受取利息の割合（年率）をいいます。

当該投資信託のベンチマークとの差異について（第180期～第185期：2018/8/7～2019/2/5）

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

<エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、0.7%（分配金再投資ベース）の上昇となり、ベンチマークの騰落率（2.1%）を1.4%下回りました。
- ・実質的な運用を行っているマザーファンドの騰落率がベンチマークを下回ったことや、信託報酬等の運用上の費用を計上したことなどがマイナスに影響し、ベンチマークをアンダーパフォーマンスしました。

<エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド>

- ・基準価額は当作成期首に比べ、1.6%の上昇となり、ベンチマークの騰落率（2.1%）を0.5%下回りました。
- ・カザフスタンの銘柄選択等がプラスに寄与したものの、ブラジルをベンチマークに対して低めの投資割合としていたことやルーマニアの銘柄選択などがマイナスに作用し、ベンチマークに対してアンダーパフォーマンスしました。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
	2018年8月7日～ 2018年9月5日	2018年9月6日～ 2018年10月5日	2018年10月6日～ 2018年11月5日	2018年11月6日～ 2018年12月5日	2018年12月6日～ 2019年1月7日	2019年1月8日～ 2019年2月5日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
（対基準価額比率）	0.609%	0.591%	0.606%	0.615%	0.636%	0.612%
当期の収益	23	32	24	23	25	29
当期の収益以外	21	12	20	21	19	15
翌期繰越分配対象額	1,033	1,021	1,001	980	961	946

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

<エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・新興国債券市場にとって厳しい環境が続いているものの、新興国のファンダメンタルズは、潤沢な外貨準備高や健全な水準にあると考えられる対外債務返済能力などを背景に新興国債券市場について中長期的には前向きに見ています。ただし、短期的に注目すべき不確実性要因として、先進国の金融政策、米中の成長減速懸念、貿易政策の不透明感、英国のEU離脱問題、コモディティ価格の動向、一部の新興国に特有の懸念事項などがあり、事態の推移を注視していく方針です。

◎今後の運用方針

- ・新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし、ファンダメンタルズ分析・信用リスク分析に基づく分散投資を基本とし、運用を行う方針です。
- ・新興国債券市場は、米中貿易摩擦などの影響や先進国の金融政策、新興国の政治要因などに注意が必要と考えています。そのため、リスクを管理し、ファンダメンタルズを重視した運用に臨みます。世界経済や市場の不安定性に抵抗力を有する国を中心に配分するとともに、市場価格が発行体のファンダメンタルズからカイ離し、割安であると判断し得る債券に対する投資機会を探る方針です。
- ・国別資産配分については、ファンダメンタルズが改善基調にあると見ているハンガリーやクロアチアなどの一部の欧州諸国やバリュエーション等の観点で割安と見ている中東の一部湾岸諸国などへの配分を重視する方針です。一方、ファンダメンタルズは良好であるものの、バリュエーション面で割高感のあるマレーシアなどのアジア諸国に関しては、一部を除いてベンチマークの構成比に対して低めの投資割合とする方針です。
- ・当面、デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとする方針です。
- ・為替取引等については、原則として対円での為替ヘッジは行わない方針です。ただし、ユーロ建資産の一部について実質的に米ドル建となるように行っている為替取引のポジション（持ち高）は、当面維持する予定です。

お知らせ

i 受益者のみなさまに知っていただきたいファンドに関するお知らせを掲載しています。

◎約款変更

- ・該当事項はありません。

◎その他

- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

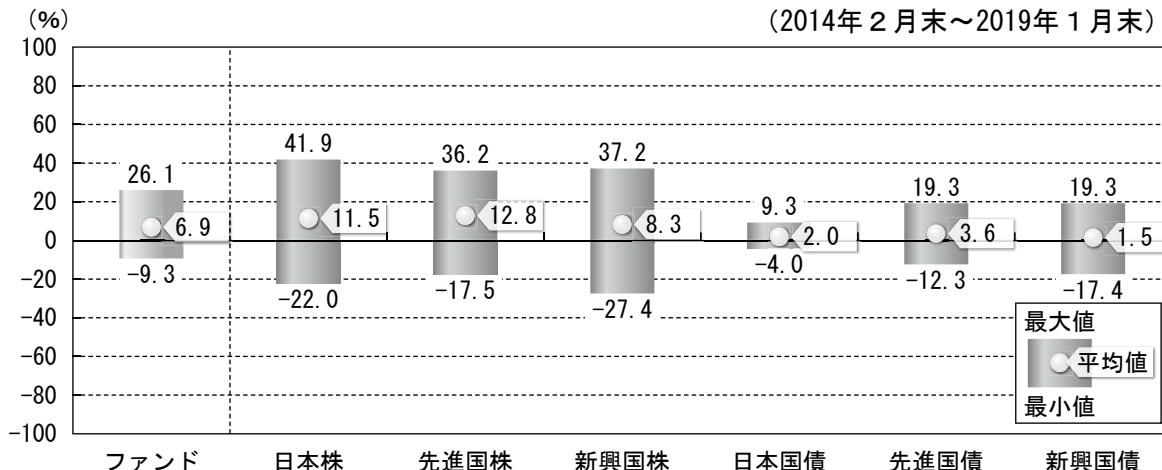
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年8月5日まで（2003年8月8日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目的として、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	エマーシング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券
	エマーシング・ソブリン・オープン マザーファンド	エマーシング・カントリー（新興国）のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・エマーシング・カントリー（新興国）のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし、分散投資を行います。 ・新興国のソブリン債券、準ソブリン債券からの高水準かつ安定した利子収入に加え、値上がり益の獲得を目指します。 ・マザーファンドの運用の指図に関する権限を、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。 	
分配方針	毎月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、利子・配当収入を中心に分配金額を決定します。	

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

i 当ファンドの基準価額の変動率を他資産と比較することでファンドの値動き特性を捉えるのにお役立てください。

（2014年2月末～2019年1月末）



○上記は、2014年2月から2019年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

新興国株：MSCI エマーシング・マーケット・インデックス（配当込み）

日本国債：NOMURA-BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2019年2月5日現在)

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第185期末 2019年2月5日
エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド	99.5%

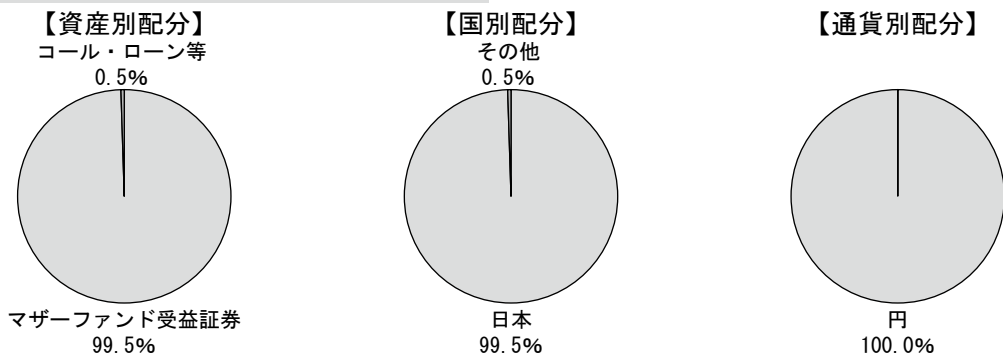
・比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項 目	第180期末 2018年9月5日	第181期末 2018年10月5日	第182期末 2018年11月5日	第183期末 2018年12月5日	第184期末 2019年1月7日	第185期末 2019年2月5日
純資産総額	25,077,761,011円	25,625,701,596円	24,824,502,840円	24,293,104,631円	23,357,783,023円	24,366,471,865円
受益権口数	34,132,504,533口	33,831,498,131口	33,635,461,807口	33,415,223,783口	33,234,000,961口	33,338,277,651口
1万口当たり基準価額	7,347円	7,575円	7,380円	7,270円	7,028円	7,309円

・当作成期間中（第180期～第185期）において
追加設定元本は979,609,026円
同解約元本は1,961,293,196円です。

種別構成等



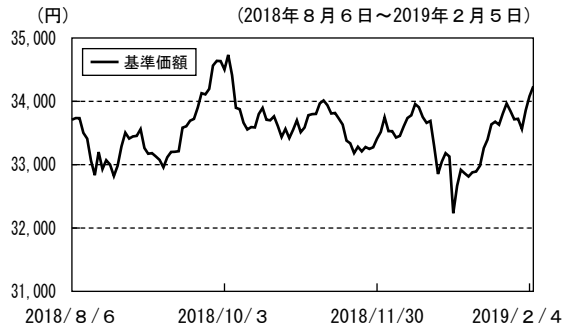
- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。
- ・【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド

（2019年2月5日現在）

基準価額の推移



組入上位10銘柄

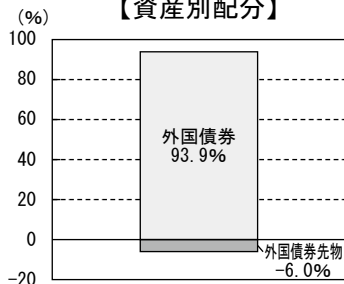
（組入銘柄数：219銘柄）

順位	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	6.375 HUNGARY 210329	債券	ハンガリー	国債	4.6%
2	4.75 AZERBAIJAN 240318	債券	アゼルバイジャン	国債	1.9%
3	6.375 CROATIA 210324	債券	クロアチア	国債	1.8%
4	5.375 HUNGARY 230221	債券	ハンガリー	国債	1.5%
5	6.625 CROATIA 200714	債券	クロアチア	国債	1.5%
6	6.85 SRI LANKA 251103	債券	スリランカ	国債	1.4%
7	6.75 PETRO MEX 470921	債券	メキシコ	社債	1.3%
8	2.375 QATAR 210602	債券	カタール	国債	1.2%
9	6.6 DOMINICAN 240128	債券	ドミニカ共和国	国債	1.2%
10	3.625 SINOPEC GRP 270412	債券	中国	社債	1.1%

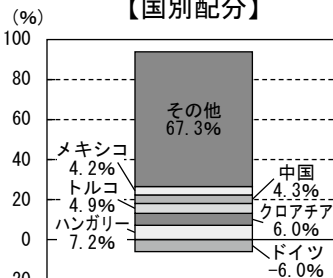
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

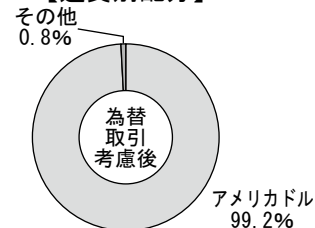
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示しています。
- ・国別配分は、上位5カ国を表示しています。
- ・国別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションを表示しています。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	0円	0.000%
(先物・オプション)	(0)	(0.000)
(b) その他費用	2	0.006
(保管費用)	(2)	(0.006)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.006

期中の平均基準価額は、33,534円です。

（2018年8月7日～2019年2月5日）

（注）1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

154010

指数に関して

○ファンドのベンチマークである『J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）』について

- ・ベンチマークは米ドル建てのJ.P. Morgan EMBI Global Diversifiedを三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえでそれぞれの設定時を10,000として指数化したものです。なお、ベンチマークは基準日前営業日の同インデックスの指数値を、為替は基準日の三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値を、それぞれ用いて計算しています。
- ・情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したのですが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

○「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。